

---

# 誰かに似ている

があわいこ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

誰かに似ている

### 【Nコード】

N8937I

### 【作者名】

があわいこ

### 【あらすじ】

ジュンは「スナック・ジュン」の前で捨て猫を拾うが…。

(前書き)

2009年12月10日、猫とガツチャマンのコンドルのジョーが大好きなネコシッポさんのブログが3333ヒットしたお祝いに贈ったフィク。

ジューンは店の外に何かの気配を感じてドアをじっと睨んでいた。  
まさか？ジゴキラー！？

思い切つてドアを開けて外に出てみるとそこには段ボール箱に入れられた小さな仔ネコが一匹ごそごそと動いていた。

「な〜んだ。捨てネコかあ。」

いつもなら、即ジンペイに他のところへまた捨てに行かせるのだが、今日のジューンは違っていた。

箱ごと仔ネコを店の中に運び入れたのだ。

それは今ジンペイが買い出しに行つて、まだ戻つてこないからだけではなかった。

「誰かに似ているのよね〜。」

そのとき、スナックジューンのドアが開いて健が入ってきた。

「あれ？ジューン、一人か？」

健は目ざとくカウンターの丸椅子の下に置かれている段ボール箱に気づいた。

「いいのか？飲食店でネコなんか飼つて。」

カウンターの中でアイスピックをもったジューンが答える。

「飼つていないわよ。ジンペイが帰ってきたら言つて捨てさせようと思つているのよ。」

健は仔ネコの首根っこをつかんで持ち上げた。

「ねえ、健。この子、誰かに似ていない？」

そう言いながらジューンはカウンターを飛び越えて健の隣りにしゃがみこんだ。

手足をばたつかせてミャ〜と鳴いたその仔ネコの目を見て健はハッとした。

灰青色の瞳。

つり上がった目にとても生まれたばかりとは思えない鋭いまなざし…。

「ジヨーだ。」

二人は同時にその男の名を口にした。

クロスカラコルムから二人が戻ってきて2年が過ぎようとしていた。

（おわり）

(後書き)

読んでいただいております。ありがとうございます。

ガツチャマンのファンフィクは他にもありますのでよかったです。読んでください。

BLものも一点ですがムーンライトの方にあります。

興味がある方はどうぞ。作家名は同じく「があわいこ」です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8937i/>

---

誰かに似ている

2010年10月28日06時47分発行